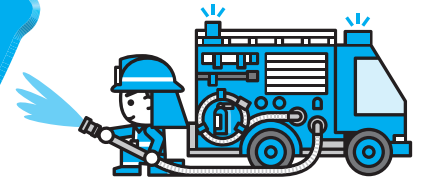




キララ



Kirara

救急の日

9/9は
救急の日

親子DEホリデー in やつしろ



9月4日(日)に熊本県営八代運動公園において、一般社団法人くま川スポーツアカデミー様の主催のもと、救急の日のイベントを行いました。

心肺蘇生法やAED体験、放水体験等様々なコーナーを設け、多くの方々に消防の仕事を手近に感じていただきました。



【主な掲載記事】

- ★ 職員の給与と人事管理の状況 2ページ
- ★ 派遣職員の紹介 3ページ
- ★ お知らせ 4ページ

八代広域行政事務組合

〒866-0895 熊本県八代市大村町970番地
 消防本部 / (代表) TEL 32-6181
 総務課 / TEL 33-6319
 予防課 / TEL 32-9227
 警防課 / TEL 32-9228
 八代消防署 / TEL 32-9223
 鏡消防署 / TEL 52-1313

★災害件数(前年比)

【1月1日~8月31日現在】

火災30件 (1件増) 救急5,354件 (931件増) 救助46件 (3件増)

ホームページアドレス <http://www.yatsushiro-fd.com>
 災害情報ダイヤル TEL 0180-999-194



八代広域行政事務組合職員の給与と人事管理の状況

八代広域行政事務組合職員の給与は、八代広域行政事務組合職員の給与に関する条例で定められており、八代市一般職の職員の給与に関する条例の規定を準用しています。

また、人事管理については、適正な人員管理を行うとともに採用試験や職員研修を実施しています。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員採用の状況

区分	職種	試験の程度	令和4年度
競争試験	消防	高卒程度	9人

※「採用」は前年4月2日から当年4月1日までの間の数を計上しています。

(3) 職員数の状況(各年度4月1日現在)

区分	職員数(人)					
	H30	R1	R2	R3	R4	
消防	消防本部	42	50	50	52	53
	八代消防署	117	112	115	115	115
	鏡消防署	72	71	72	73	73
合計	231	233	237	240	241	

(2) 職員退職の状況

(人)

区分	令和3年度
定年退職	6
早期退職	0
普通退職	2
その他	0
合計	8

※「退職」は前年4月1日から当年3月31日までの間の数を計上しています。

2 職員の給与の状況

(1) 職員の初任給の状況

区分	八代広域	国
高卒	150,600円	150,600円

(2) 職員の平均給与月額及び平均年齢の状況

平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
269,982円	288,506円	35.4歳

※ 平均給与には期末勤労手当を含みません。

(3) 級別職員数の状況(令和4年4月1日現在)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
標準的な職務内容	主事技師	主事技師	係長主任など	課長補佐副主幹など	課長課長補佐など	次長課長など	消防長次長など	
階級	消防士	消防副士長 消防士	消防司令補 消防士長 消防副士長	消防司令 消防司令補	消防司令長 消防司令	消防監 消防司令長	消防正監 消防監	
職員数(人)	67	41	45	67	12	6	3	241
構成比(%)	27.8	17.0	18.7	27.8	5.0	2.5	1.2	100

3 職員の勤務時間の状況

(1) 勤務時間、休憩時間、週休日の状況 ◆1日の勤務時間7時間45分、1週間の勤務時間38時間45分

区分	勤務時間	休憩時間	週休日
毎日勤務	8:30~17:15	12:00~13:00	土曜日、日曜日
隔日勤務	2週間を平均し1週間当たり38時間45分で、 1日15時間30分勤務(8:30~翌日8:30)		4週間で8日

4 職員の分限及び懲戒処分の状況(令和3年度)

	処分(事由)	件数
分限処分	休職	1
懲戒処分		0

5 職員の人事評価の状況(令和3年度)

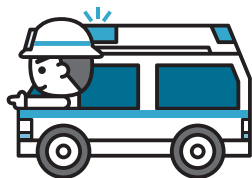
	次長級	課長級	課長補佐・係長級	主任・主事
評価項目	業績、能力	同 左	同 左	同 左
評価時期	12月~1月	同 左	同 左	同 左
活用分野	研修・昇任など	同 左	同 左	同 左

※1月1日を基準日とし、全職員を対象に実施しています。

主な内容を掲載しており、詳細については、ホームページをご覧ください。

デイトタイム救急隊!!

日勤救急隊の運用を開始します!



本組合では令和5年4月本格運用に向け、本年10月から本部職員による日勤救急隊の試験運用を開始します。管内の救急出場件数、約7000件/年間のうち、八代消防署救急隊が全体の42%を占める約3000件を担っています。本年は、救急件数がすでに前年比931件増となっており、このまま増加すると、8000件を超える可能性も予想されます。このように救急需要が高まる中、出場件数の多い日中の時間帯を強化し、住民サービスの向上に努めるものです。引き続き救急車の適正利用にもご協力をお願いします。

～派遣職員の紹介～

熊本県消防学校教官

派遣先：熊本県消防学校

派遣職員：藤本 ^{ふじもと} 龍昭 ^{たつあき}

派遣期間：令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年間)

県内の新規採用職員への基礎的技術等を習得する初任科教育、現役消防職員の専門的知識を磨くための専科教育、消防団員等への教育など、知識・技術等の習得を図り、消防の責務を正しく認識させ、地域住民の負託に応えられる消防人を育成する教官として業務を行っています。



【藤本教官から】

コロナ禍で様々な制限がある中、新たな教育訓練や訓練体制を試行錯誤しながら日々の業務に努めております。職員及び学生の協力のもと、地域住民の安全・安心の負託に応えられる消防人を送り出せたことは私自身の誇りです。これからもこの経験を生かして日々精進してまいります。



熊本県防災消防航空隊 (県防災消防ヘリコプター「ひばり」)

派遣先：熊本県防災消防航空隊

派遣職員：松本 ^{まつもと} 豊 ^{ゆたか}

派遣期間：令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)

令和2年7月豪雨災害をはじめ、陸路から進入が難しい場合での救助活動、大規模な火災での消火活動、遠隔地から医療機関への搬送など、空から地域住民の命を守る一翼として任務を行っています。



【松本隊員から】

防災ヘリ「ひばり」の隊員として「空」という特殊な環境下で多くの災害に出動し、高い安全管理意識と強固なチームワークの重要性を日々学んでおります。単身赴任での派遣となり心配しながらも応援してくれている家族に感謝しています。八代へ帰任した際は航空隊で培った経験を糧に皆様のために尽力してまいります。



多数傷病者発生想定訓練を実施しました!

7月30日(土)に産交バス(株)八代営業所様のご協力のもと、大型バスの交通事故における多数傷病者発生を想定した合同訓練を実施しました。

大型バスの前方出入り口が開閉できない状態で、車内に多数の傷病者が発生したという想定です。多数の傷病者に対して**トリアージ**を実施し、大型バスの後部にある非常口から救出・搬送を行いました。

日頃、なかなか行うことができない貴重な訓練を通して、産交バス(株)の職員の皆様と、とても良い連携がとれたと思います。

※**トリアージ**とは…

患者の重症度に基づいて、医療・治療の優先度を決定して選別を行うことです。



救急処置の様子



傷病者搬送の様子

土砂災害を想定した 地元企業との重機連携訓練!!



7月25日(月)、26日(火)に地震等で発生する土砂災害時における円滑な対応と、地元企業との連携強化を目的として、八代地区土木災害協力会である岡野田建設様に技術指導をお願いし、重機連携訓練を実施しました。

今後もあらゆる災害に迅速対応できるよう日々訓練を重ね、更なる連携強化を図っていきます。



土砂埋没救出訓練の様子

土砂に埋没した要救助者1名を、地元業者の重機と連携して救出。救出手順の確認を行った。



操作技術訓練の様子

地元企業に技術指導を依頼し、当消防本部重機運用要員の操作技術の向上を図った。

野外焼却による火災が × 多く発生しています

八代広域消防本部管内では、毎年、野外焼却による火災が多く発生しています。

野外焼却は、原則禁止されています。(一部の例外を除く)詳しくは、各行政機関へお問い合わせください。

- ◆八代市にお住まいの方
【八代市循環社会推進課 ☎0965-34-1997】
- ◆氷川町にお住まいの方
【氷川町町民課 ☎0965-52-5851】

○禁止されている野外焼却

- ◆たき火(家庭ごみ、落ち葉、剪定屑など)
- ◆火入れ、野焼き

○例外として野外焼却を行う場合は?

- ◆事前に最寄りの消防署へお知らせください。届出が必要です。

(万一、火災となった場合に備えるためであり、焼却を許可するものではありません。)

- ◆例外として野外焼却を行う場合は、次のことに注意してください。

- ・風が強い日や乾燥注意報などが出ているときは行わない。
- ・周囲に燃えやすいものがない場所で行う。
- ・消火の準備をする。
- ・火を消すまではその場を絶対に離れない。
- ・燃え広がりを防ぐために少しずつ焼却する。
- ・完全に火が消えたことを確認する。

第50回全国消防救助技術大会出場

8月26日(金)東京都立川市において、第50回全国消防救助技術大会が開催され、当消防本部からは、ロープブリッジ渡過に井上隊員、ロープ応用登はんには尾方隊員チーム、水中結索に白川隊員チームが出場しました。



【ロープブリッジ渡過】

八代消防署 消防副士長 井上 稜太 (入賞)

【ロープ応用登はん】

日奈久分署 消防副士長 尾方 壮共 (入賞)

八代消防署 消防士 鳥居 大暉 (入賞)

【水中結索】

鏡消防署 消防副士長 白川 湧太 (入賞)

鏡消防署 消防士 深田 英之 (入賞)

新開分署 消防士 藤本 桂志 (入賞)

氷川町消防ポンプ操法大会開催

8月7日(日)竜北グラウンドにおいて、第7回氷川町消防ポンプ操法大会が開催されました。消防団員の技術向上



と消防精神の高揚及び団員相互の団結を図り、地域住民の負託に応えることを目的として8団体が参加されました。気温が30℃を越える炎天のもと、各分団日頃の訓練の成果を発揮されていました。各隊員の操作要領・行動・動作全般並びに標的を倒すまでの所要時間を審査項目とし、厳正な審査の結果、第5分団が優勝されました。第5分団は、9月4日(日)に玉名市で開催された第34回熊本県消防操法大会に氷川町代表として出場され6位入賞という成績を収められました。

令和4年 秋季全国火災予防運動

11月9日(木)から11月15日(火)まで『令和4年秋季全国火災予防運動』が実施されます。

期間中は、全国各地で火災予防を啓発する活動が行われ、当消防本部においても、より一層の「火の用心」を呼びかけています。

昨年度活動の様子



夜間投影機を使用して庁舎外壁に防火標語を投影



店舗の商品に火災予防運動のシールを貼付して広報

7月27日(木)、28日(金)に鏡まちづくり協議会主催のジュニアリーダー研修に参加されている児童11名を対象に、令和2年7月豪雨災害研修、防災研修を行いました。皆さんの熱心な取り組みに圧倒されつつも実りある研修会となりました。



防災講話



消火器取扱い



心肺蘇生法



「住宅用火災警報器 つけて安心 点検で大丈夫」

